平成２５年度　決算報告

平成２５年度決算の概要について

平成２５年度の決算の概要は次のとおりです。

①補助金収入の帰属収入における割合は、前年度から若干減少し、9.3%となりました（前年度：9.7%）。
②医療収入は、産業医科大学病院、若松病院とも前年度より増加し、前年度比4%の増収となりました。一方、薬品費、診療材料等の医療経費の支出も増加し、前年度比5%の増となりました。
③雑収入は前年度比23%増となりましたが、これは科研費間接経費等の増加によるものです。
④全体的には、収入は増加しましたが支出も増加したため、主要財務比率は前年度とほぼ同じ傾向となりました。

収支計算書類

１．消費収支計算書

消 費 収 支 計 算 書

平成25年4月 1日から
平成26年3月31日まで

（単位：百万円）

収入の部 科目	平成25年度	平成24年度	備考
学生生徒納付金	3,548	3,436	入学金、授業料等
手数料	167	160	入学検定料等
寄付金	458	426	企業等からの研究助成金等
補助金	3,095	3,073	国庫補助金・臨床研修費等補助金等
資産運用収入	586	525	大学運営基金運用益・施設利用料等
医療収入	23,857	22,748	診療収入
事業収入	1,202	1,203	企業等からの受託研究、委託を受けた実習等に係る収入
雑収入	195	158	科研費間接経費等
帰属収入合計	33,110	31,733	
基本金組入額	△1,185	△1,363	
消費収入の部合計	31,925	30,370	

支出の部 科目	平成25年度	平成24年度	備考
人件費	11,392	10,569	職員基本給、退職手当引当金繰入等
教育研究経費	5,708	5,618	研究費、旅費等、減価償却額
医療経費	10,881	10,354	診療材料費、診療諸費、減価償却額
管理経費	2,428	2,411	消耗品費、業務委託費、営繕費等、減価償却額
借入金等利息	10	12	若松病院設置に係る借入金利息
資産処分差額	101	210	固定資産除却損等
徴収不能引当金繰入額等	19	10	徴収不能引当金繰入
消費支出の部合計	30,542	29,186	
当年度消費収入超過額	1,382	1,184	
前年度繰越消費支出超過額	7,002	8,186	
翌年度繰越消費支出超過額	5,619	7,002	

（注）百万円未満切り捨て表示のため合計とは必ずしも一致しません。

消費支出超過となっているのは、*退職手当引当金および**減価償却額に計上している引当必要額のうち、一部しか計上できていないことが主な要因です。　（平成25年度末の減価償却累計額の合計額：34,410百万円）

*退職手当引当金……教職員の将来の退職時に支払うべき退職金を負債として考えるもので、学校法人で最も一般的な計算方法は「期末要支給額計上方式」（その決算期末に全教職員が退職するものと仮定して要支給額を計算するもの）です（平成25年度期末要支給額：7,285百万円）。期末要支給額に見合う資金を積み立てているのが退職手当引当特定預金です。

**減価償却額 …… 固定資産(機器備品等)の価値は毎年同じ金額だけ減少していくと考え、その減少分を費用計上したものが減価償却額で、それに見合う資金を積み立てているのが減価償却引当特定資産です。

２．資金収支計算書

資 金 収 支 計 算 書

平成25年4月 1日から
平成26年3月31日まで

（単位：百万円）

収入の部				支出の部			
科目	平成25年度	平成24年度	備考	科目	平成25年度	平成24年度	備考
学生生徒納付金収入	3,548	3,436	入学金、授業料等	人件費支出	11,567	11,227	職員基本給、退職金等
手数料収入	167	160	入学検定料等	教育研究経費支出	4,931	4,662	研究費、旅費等
寄付金収入	416	399	企業等からの研究助成金等	医療経費支出	10,280	9,793	診療材料費、診療諸費
補助金収入	3,120	3,097	国庫補助金・臨床研修費等補助金	管理経費支出	2,717	2,963	消耗品費、業務委託費、営繕費等
資産運用収入	586	525	大学運営基金運用益、施設利用料等	借入金等利息支出	10,680	12	若松病院設置に係る借入金の利息支出
資産売却収入	402	0	有価証券償還収入	借入金等返済支出	300	150	若松病院設置に係る借入金の返済支出
医療収入	23,857	22,748	診療収入	資産運用支出	3,543	3,310	退職手当引当預金繰入等
事業収入	1,202	1,203	企業等からの受託研究、委託を受けた実習等に係る収入	その他の支出	3,902	4,639	前期末未払金支出等
雑収入	175	158	科研費間接経費等	資金支出調整勘定	△3,745	△3,782	期末未払金
前受金収入	78	68	入学金前受金	次年度繰越支払資金	8,338	7,073	
その他の収入	6,144	5,592	前期末未収入金収入、預り金等				
資金収入調整勘定	△4,926	△4,867	期末未収入金等				
前年度繰越支払資金	7,073	7,526					
合計	41,848	40,050		合計	41,848	40,050	

（注）百万円未満切り捨て表示のため合計とは必ずしも一致しません。

学校法人会計の計算書について（解説）

学校法人会計基準では、「資金収支計算書」、「消費収支計算書」および「貸借対照表」の計算書類を作成することになっています。

・資金収支計算書…会計年度の諸活動に対応するすべての収入および支出の内容と支払い資金の収入および支出のてん末を明らかにするもの（簡単に言えば家計簿のようなもので、収入（資金）が何にどのように使われたかということを明確にするために作成します。）

・消費収支計算書…会計年度の消費収入と消費支出の内容および均衡の状態を明らかにするもの（企業会計における損益計算書に該当するものといわれており、おおまかには消費収入の合計（帰属収入）から消費支出の合計（いわゆる経費）を差し引いた額が企業会計でいう当期利益にあたると考えられます。）
ほとんどが資金収支計算書と同じですが、減価償却額や退職手当引当金繰入額といった実際には資金が動かないものでも経費としてあげておかねばならないものが計上されています。

・貸借対照表……会計年度末における資産や負債、正味財産で構成され、法人の財政状態を表しています。表の左側の「資産」が表の右側の「負債」あるいは「基本金」などに対応しています。

また、学校法人会計に特有なものとして「基本金」があります。これは「学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、その帰属収入のうちから組み入れた金額（学校法人会計基準）」で、第１号基本金から第４号基本金まであります。

・第１号基本金…学校法人が取得した固定資産の額
・第２号基本金…将来取得する固定資産の取得にあてるため、金銭その他の資産を計画的に積み立てる額
・第３号基本金…基金として継続的に保持しながら、その運用によって得た資産を教育研究のために使用することを目的とする運用原資
・第４号基本金…恒常的に保持すべき資金として文部科学大臣が定める額（消費支出の１ヶ月分）

本学では第１号基本金の他、第３号基本金と第４号基本金を組入れています。

（参考）「学校法人の決算書の読み方」　赤塚和俊　2001年4月1日発行　株式会社ぎょうせい

３．貸借対照表

貸　借　対　照　表

平成26年3月31日現在

（単位：百万円）

資産の部 科目	平成25年度末	平成24年度末	増減
固定資産	75,778	74,657	1,120
有形固定資産	47,537	48,741	△1,203
土地	4,951	4,951	0
建物	36,653	37,342	△688
構築物	227	224	3
教育研究用機器備品	3,675	4,172	△496
その他の機器備品	69	91	△22
図書	1,954	1,946	8
車両	4	4	0
＊建設仮勘定	1	8	△6
その他の固定資産	28,240	25,916	2,324
電話加入権	5	5	0
ソフトウエア	70	27	43
施設利用権	0	0	0
☆有価証券	0	0	0
☆出資金	14	14	0
敷金	0	0	0
☆収益事業元入金	44	44	0
☆長期貸付金	0	1	△1
退職手当引当特定預金	3,086	3,149	△63
☆周年記念事業特定預金	56	67	△11
減価償却引当特定資産	10,296	8,275	2,020
☆住宅貸付資本金特定資産	447	440	0
住宅資金貸付金(特定資産)	1	1	0
職員厚生運用基金特定資産	100	100	0
大学運営基金引当特定資産	14,117	13,787	329
☆流動資産	13,447	12,492	954
現金預金	8,338	7,073	1,264
未収入金	4,761	4,702	59
有価証券	213	616	△402
薬品	122	96	26
診療材料	8	3	5
仮払金	2	0	1
資産の部合計	89,225	87,150	2,075

負債の部 科目	平成25年度末	平成24年度末	増減
固定負債	8,902	9,432	△529
長期借入金	900	1,050	△150
退職手当引当金	7,285	7,453	△168
未払金	717	928	△211
流動負債	3,387	3,351	36
短期借入金	150	300	△150
未払金	3,027	2,853	174
国庫返納未払金	25	23	1
前受金	78	68	9
預り金	90	95	△4
仮受金	15	10	5
負債の部合計	12,290	12,783	△4

基本金の部 科目	平成25年度末	平成24年度末	増減
第1号基本金	79,825	78,672	1,152
第3号基本金	548	542	6
第4号基本金	2,180	2,154	26
基本金の部合計	82,554	81,369	1,185

消費収支差額の部 科目	平成25年度末	平成24年度末	増減
**翌年度繰越消費支出超過額	5,619	7,002	1,382
消費収支差額の部合計	△5,619	△7,002	1,382
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	89,225	87,150	2,075

（注）百万円未満切り捨て表示のため合計とは必ずしも一致しません。

第1号基本金に対応しています。

退職手当引当金に対応しています。

第3号基本金に対応しています。

☆は翌年度繰越消費支出超過額に含まれています。

現金預金に対応しています。

現金預金と有価証券に対応しています。

＊建設仮勘定…建設途中にかる建物、構築物等の有形固形資産に対する支出額を計上する勘定です。

平成24年度分は大学病院本館及び女子学生寮の設備改修等にかかる支出額を計上しましたが、平成25年度に改修が終了しましたので、本来の科目(建物）に振替ました。

平成25年度分は大学病院本館の病棟改修にかかる支出額を計上しています。

４．収益事業会計・損益計算書

収益事業会計は本学の介護施設「虹の丘」の収支です。

今年度は利用者の増加により前年度に比べ増収となり、当期剰余金は2,132千円でした。これに前期繰越剰余金21,671千円を加えた23,804千円が翌期に繰越となりました。

損　益　計　算　書

平成25年4月 1日から
平成26年3月31日まで

（単位：千円）

損　益　計　算　書			
Ⅰ．営業損益の部			
科　　目	平成25年度末	平成24年度末	備　　考
（営業収益）			
介護事業収入	51,964	48,746	介護保険収入、介護料収入等
（営業費用）			
人件費	37,331	37,948	職員基本給、諸手当、法定福利費、賃金等
管理事業費用	8,200	6,155	消耗品、光熱水費等
介護事業費用	3,963	3,798	給食材料費、自動車リース料等
（計）	49,496	47,902	
営業利益	2,468	844	
Ⅱ．営業外損益の部			
介護事業外収入	293	594	
経常利益	2,762	1,439	
税引前当期剰余金	2,762	1,439	
法人税、事業税及び地方法人特別税	629	296	
当期剰余金	2,132	1,142	
前期繰越剰余金	21,671	20,529	
繰越剰余金	23,804	21,671	

（注）千円未満切り捨て表示のため合計とは必ずしも一致しません。

５．収益事業会計・貸借対照表

貸　借　対　照　表

平成26年3月31日現在

（単位：千円）

資産の部				負債の部			
科目	平成25年度末	平成24年度末	増減	科目	平成25年度末	平成24年度末	増減
流動資産	36,221	34,571	1,650	流動負債	3,377	3,989	△612
現金預金	28,866	26,706	2,160	未払金	2,259	3,386	△1,127
未収入金	7,352	7,864	△512	預り金	489	307	182
立替金	3	0	3	未払法人税等	629	296	333
固定資産	39,193	40,991	△1,798	固定負債	3,450	5,119	△1,669
有形固定資産	36,133	38,405	△2,272	長期借入金	0	1,500	△1,500
土地	17,876	17,876	0	長期未払金	390	1,033	△643
建物	14,090	15,272	△1,182	退職手当引当金	3,059	2,586	473
構築物	2,182	2,322	△140	負債の部合計	6,828	9,109	△2,281
備品	950	1,155	△205	**純資産の部**			
車両運搬具	1,033	1,779	△746	科目	平成25年度末	平成24年度末	増減
その他の固定資産	3,059	2,586	473	収益事業元入金	44,781	44,781	0
退職手当引当特定預金	3,059	2,586	473	剰余金	23,804	21,671	2,133
				当期剰余金	2,132	1,142	990
				前期繰越剰余金	21,671	20,529	1,142
				純資産の部合計	68,586	66,453	2,133
資産の部合計	75,415	75,562	△147	負債の部及び純資産の部合計	75,415	75,562	△147

財　産　目　録

平成26年3月31日現在

（単位：円）

科　　目	摘　　要	金　　額
一　資産額		
（一）基本財産		
1　土地（校地）		4,902,165,016
	北九州市八幡西区医生ヶ丘他　333,269㎡	(4,050,840,002)
	北九州市八幡西区大字浅川　1,199㎡	(8,783,025)
	北九州市八幡西区光貞台　6,036.07㎡	(114,534,946)
	北九州市八幡西区星和町　1,133.84㎡	(24,442,421)
	北九州市八幡西区大浦　5,529.12㎡	(105,564,622)
	北九州市若松区浜町 12,357.12㎡	(598,000,000)
2　建物		36,653,488,092
	校舎等教育施設　77,203.67㎡	(16,320,292,259)
	大学病院施設　55,304.8㎡	(14,011,805,895)
	若松病院施設　12,828.01㎡	(2,155,198,010)
	その他施設　37,069.08㎡	(4,166,191,928)
3　構築物		227,324,009
	運動場施設	(43,203,358)
	緑化施設	(43,012,381)
	その他施設	(141,108,270)
4　図書	教育研究用図書 179,491冊	1,954,491,865
5　教育研究用機器備品		3,675,407,132
	病院総合医療情報システムサーバー一式（リース）	(490,581,000)
	バイプレーン心血管造影検査治療システム	(221,856,600)
	全身用CTスキャナー一式	(182,175,000)
	ホールボディカウンター一式	(41,717,500)
	デジタルX線画像解析システム	(21,525,000)
	他14,558点	(2,717,552,032)
6　その他機器備品	事務系ネットワーク機器一式　他721点	69,321,074
7　ソフトウェア	管理会計システム他5点	70,696,176
8　車両	乗用車3台、小型貨物車2台、乗合自動車1台、救急車1台	4,598,682
9　建設仮勘定	産業医科大学病院本館関係	1,680,000
（二）運用財産		
1　現金預金		8,338,253,346
2　有価証券		214,279,000
3　退職手当引当特定預金		3,086,378,446
4　周年記念事業特定預金		56,227,064
5　職員厚生運用基金特定資産		100,000,000
6　住宅貸付資本金特定資産		447,540,727
7　減価償却引当特定資産		10,296,068,705
8　大学運営基金引当特定資産		14,117,048,266
9　土地	北九州市八幡西区藤原　2,783.28㎡	49,280,197
10　電話加入権	67回線	5,084,012
11　出資金		14,250,000
	有限会社　産業医大サービスに対する出資金	(3,350,000)
	株式会社　産業医大ソリューションズに対する出資金	(4,950,000)
	産業医大微生物解析研究開発有限責任事業組合に対する出資金	(2,970,000)
	産業医科大学ヘルスマネジメントシステム有限責任事業組合に対する出資金	(2,980,000)
12　住宅資金貸付金		1,262,500
13　敷金		649,500
14　未収入金		4,761,946,014
医業未収金		(3,942,465,053)
請求留保金		(612,523,679)
受託研究事業費	エコチル調査（環境省）、産業技術研究開発(経済産業省)　他	(63,927,125)
その他		(143,030,157)
15　棚卸資産	薬品 122,907,904円　診療材料 8,593,736円	131,501,640
16　仮払金	受託研究費未入金分仮払他	2,059,933

（三）収益事業用財産		
1　土地	収益事業用地　942.09㎡	17,876,240
2　建物	収益事業施設　247.29㎡	14,090,667
3　構築物	収益事業施設	2,182,782
4　備品	収益事業用機器備品	950,432
5　車両運搬具	収益事業用車両	1,033,201
6　現金預金		28,866,785
7　退職手当引当特定預金		3,059,900
8　未収入金等	未収入金　7,352,007円　　立替金　3,065円	7,355,072
資　産　額　合　計		89,256,416,475
二　負債額		
1　固定負債		
（1）　長期借入金	若松病院設置に係る外部調達資金	900,000,000
（2）　退職手当引当金	役員・教職員退職手当引当金	7,288,443,015
（3）　未払金	リース資産にかかるリース料残額	717,995,901
2　流動負債		
（1）　短期借入金	長期借入金のうち返済期限が1年以内の借入金	150,000,000
（2）　未払金	退職金、物品購入等代金他	3,030,062,775
物品購入等代金		(1,243,684,947)
未経過リース料		(503,019,321)
退職金支払金		(778,967,715)
その他		(504,390,792)
（3）　国庫返納未払金	一般会計から生じた返納金	25,190,629
（4）　前受金	入学金、授業料、施設設備費、実験実習費他	78,616,333
（5）　預り金	所得税等職員預り金、電話料等公共料金他	91,104,352
（6）　仮受金	診療費仮受他	15,660,538
（7）　未払法人税等（収益事業）		629,100
負　債　額　合　計		12,297,702,643
三　正味財産		76,958,713,832

平成２５年度　決算書からの主要財務比率表

	比率	算式（×100）	25年度	24年度	23年度	22年度	解説	評価	私医大平均（平成24年度）
1	人件費比率	人件費／帰属収入	34.41%	33.31%	36.31%	31.25%	人件費の帰属収入に対する割合を示す重要な比率である。低いほうがよい。	▼	42.1%
2	教育研究経費比率	教育研究経費／帰属収入	50.10%	50.33%	51.45%	47.79%	教育研究経費（医療経費を含む）の帰属収入に対する割合を示し、教育、医療の諸活動の維持、発展のため高いほうが望ましい。ただし、著しく高い場合は消費収支バランスを崩す要因となる。	△	47.1%
3	管理経費比率	管理経費／帰属収入	7.33%	7.60%	8.65%	7.56%	法人維持、運営のため経費支出は必要不可欠であるが、低いほうが望ましい。	▼	3.5%
4	学生生徒納付金比率	学生生徒納付金／帰属収入	10.72%	10.83%	11.29%	10.84%	本学の帰属収入の主な収入は医療収入、学生生徒納付金、補助金収入等であるが、この比率は安定的に推移することが望ましい。	▼	6.4%
5	補助金比率	補助金／帰属収入	9.35%	9.69%	11.39%	11.86%	補助金は本学の収入の主要な財源であり比率は高い方が望ましいが、外部の影響を受けやすく経営に弾力性を失う恐れがある。	△	5.4%
6	消費支出比率	消費支出／帰属収入	92.24%	91.97%	97.14%	86.95%	経常費用が帰属収入でまかなわれているかどうかを示す重要な指標で、長期的にこの比率が上昇してきているのであれば、財政がひっ迫しつつあることを示す危険な兆候となる。	▼	93.8%
7	医療経費比率（償却額除く）	医療経費／医療収入	45.61%	40.08%	41.34%	43.11%	医療経費の帰属収入に対する割合。高度な医療を提供することで、どうしても医療経費が高くなるが、効率を考えると当然に低い方がよい。	▼	35.1%
8	基本金組入率	基本金組入額／帰属収入	3.58%	4.30%	6.53%	3.92%	当該年度の帰属収入から基本金に組入れた比率を表す。高額な設備投資は基本金組入れ額が高くなり、消費収支差額が支出超過になることがあり注意が必要となる。	△	4.0%
9	固定比率	固定資産／自己資金	98.50%	100.39%	102.74%	98.82%	固定資産が外部負債に頼らず取得されているかを示す割合で、土地、建物等の固定資産にどの程度自己資金が投入されているかを示している。	▼	102.7%
10	流動比率	流動資産／流動負債	396.97%	372.79%	320.23%	431.09%	流動負債に対する流動資産の割合で、一年以内に償還又は支払わなければならない流動負債に対し、流動資産（現金預金）がどれだけ準備されているかを示している。一般的に200%を超えると優良とみなされる。	△	254.9%
11	総負債比率	総負債／総資産	13.77%	14.67%	16.70%	15.60%	総負債（固定+流動）の総資産に対する割合で、この比率は低いほどよく100%を超えると負債総額が資産総額を上回る状態となり、債務超過となる。	▼	27.0%
12	負債比率	総負債／自己資金	15.98%	17.19%	20.05%	18.48%	他人資金と自己資金との割合で、他人資金が自己資金を上回っていないかどうかを示す指標で100%以下が望ましい。	▼	36.3%
13	自己資金構成比率	自己資金／総資産	86.23%	85.33%	83.30%	84.40%	自己資産が総資産に比べどのくらいあるかを表す比率で、この比率が高いほど財政的に安定しており、50%を割ると他人資金が自己資本を上回っていることを示す。	△	—
14	基本金比率	基本金／基本金要組入	97.40%	96.95%	96.57%	100.00%	基本金要組入額の割合を示し、未組入額は借入金、未払金をもって資産を取得していることを表し100%に近い方が望ましい。	△	89.6%

※自己資金：基本金+消費収支差額

資金収支計算書

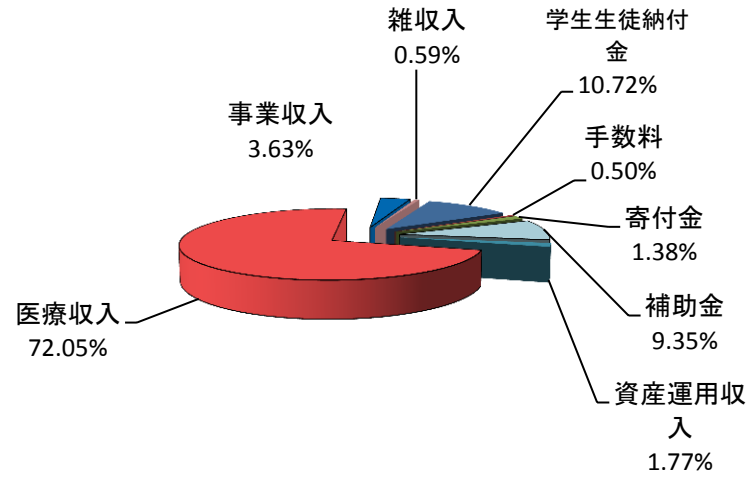
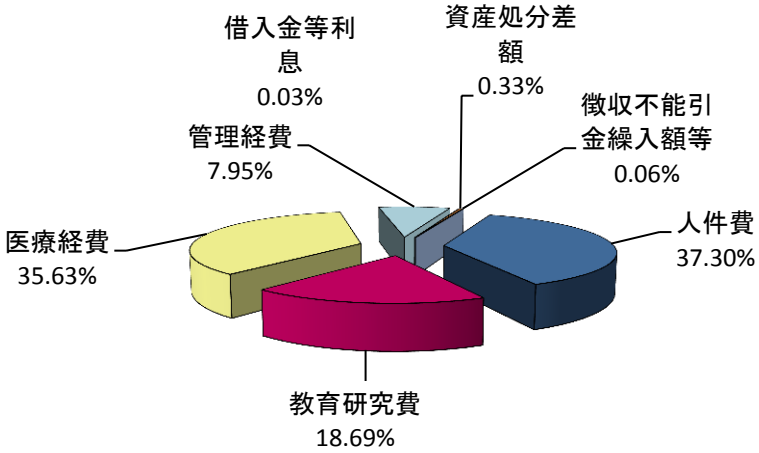
単位（百万円）

収入			支出		
科目	決算	対予算	科目	決算	対予算
学生生徒納付金	3,548	4	人件費支出	11,567	△ 33
手数料収入	167	△ 38	教育研究経費支出	4,931	△ 141
寄付金収入	416	△ 27	医療支出	10,280	271
補助金収入	3,120	20	管理経費支出	2,717	565
資産運用収入	586	△ 77	借入金等利息支出	10	0
資産売却収入	402	△ 402	借入金等返済支出	300	0
医療収入	23,857	△ 306	資産運用支出	3,543	△ 199
事業収入	1,202	△ 14	その他の支出	3,902	△ 1,628
雑収入	175	△ 13	資金支出調整勘定	△ 3,745	1,039
前受金収入	78	△ 16			
その他の収入	6,144	△ 615			
資金収入調整勘定	△ 4,926	868			
前年度繰越支払資金	7,073		次年度繰越支払資金	8,338	△ 3,065
収入の部合計	41,848	△ 3,190	支出の部合計	41,848	△ 3,190

消費収支計算書

収入			支出		
科目	決算	対予算	科目	決算	対予算
学生生徒納付金	3,548	4	人件費	11,392	△ 12
手数料	167	△ 38	教育研究経費	5,708	92
寄付金	458	△ 68	医療経費	10,881	584
補助金	3,095	45	管理経費	2,428	630
資産運用収入	586	△ 77	借入金等利息	10	0
医療収入	23,857	△ 306	資産処分差額	101	41
事業収入	1,202	△ 14	徴収不能引当金繰入額等	19	△ 12
雑収入	195	△ 32			
帰属収入合計	33,110	△ 487	消費支出の部合計	30,542	1,324
基本金組入額合計	△ 1,185		当年度消費収入超過額	1,382	
消費収入の部合計	31,925		前年度繰越消費支出超過額	7,002	
			翌年度繰越消費支出超過額	5,619	

平成25年度　決算構成比率　消費収入



消費支出